

# BCJ-SAR ISOだより Vol.18



財団法人 日本建築センターシステム審査部  
〒101-8986東京都千代田区外神田6-1-8

TEL 03-5816-7522

FAX 03-5816-7544

ホームページ <http://www.bcj.or.jp>

Eメール [sinsa@bcj.or.jp](mailto:sinsa@bcj.or.jp)

ISOだよりの所有権はシステム審査部に帰属します

## 我が社のISO(その17)

### 『内部監査を活用して継続的改善』

我が社は、1999年12月に審査登録を終え、2002年9月にISO9001:2000に移行し、来年度で2回目の更新を迎えます。推進役を努めて5年が経過しました。

認証当初は、半ば強制的にやらされているという風潮のISO活動も真の意味で品質管理のツールとして役立て、パフォーマンスの向上に寄与できるか、まさに有効性の向上が問われる時期にきています。

推進役として社員の方々の品質保証活動を効果的にアシストすることを念頭に、刻々と変化する顧客ニーズを的確に捉え常にQMSに変化を求めることを第一に心がけ取り組んでいます。

変化を求めること、そのきっかけが最も重要です。あまり誇れるような活動もないのですが、その中で特に力を入れているのが内部監査です。

昨年度より、監査の時期を短い期間で全ての部門を監査する方法から、年間を通じて総ての部門を監査する方式に変更しました。毎月どこかの部署で内部監査が開催されています。

このことにより、年間を通じて様々な問題点がインプットされ、QMSの継続的改善を強化することができました。認証当初は、ケアレスミスの指摘ばかりが目立った時期もありましたが、監査員の力量の向上に伴い少しずつではありますが有効な指摘が増えてきています。一つの内部監査からどれだけの仕組みの改善を迫ることができるかが、その監査の有効性の目安としています。また、監査員の配置も当初は部署長クラス

株式会社  
東京ソイルリサーチ

ISO推進事務局主任  
黒岩 和史



に限定していましたが、若手社員を積極的に養成・登用することにより、監査を通じて他部署の運用状況を見る機会が増え、いい意味でのボトムアップに繋がるという相乗効果も得られています。

推進役として、内部監査結果を的確に分析し経営者に有効な情報を提供することを常に心がけています。

他にも改善すべきプロセスを挙げればきりがなく、まだまだ発展途上のQMSではありますが当社の品質方針の枠組みである『お客様に価値のある品質の追求』を目指し、少しずつではありますが着実に改善活動を進めていきたいと考えています。

株式会社 東京ソイルリサーチの概要

昭和41年 4月 創立

平成11年12月 ISO9001:1994認証取得

平成13年 8月 ISO9001:1994全事業所認証取得

平成14年 9月 ISO9001:2000へ切替更新現在に至る

●主な事業内容

地質調査、土質試験、測量、技術解析、実験、地盤環境調査、構造物の耐久性に関わる浩三調査、耐震診断、補強・改修設計、工事監理

●所在地：東京都目黒区

## 「認証組織の集い」を 東京・大阪で開催

システム審査部は、ご登録されている組織の皆様との交流を目的に2007年11月「認証組織の集い」を、東京と大阪にて開催致しましたので報告いたします。

この度の「認証組織の集い」では次のような2つのテーマを設定致しました。

### 1. JAB MS100-2007 (ISO/IEC17021:2006 を採用)に基づく認証について

(財)日本 適合性認定協会(JAB)のマネジメントシステム認証機関に対する認定の基準(JAB MS100-2007)に対応して改訂した「QMS認証の手引き」を基に、組織の皆様に関係する主な事項等最新の手順についての説明を行い、併せて質疑応答を行いました。



『認証組織の集い』のひとコマ

### 2. 意見交換会

ご参加いただいた皆様との「意見交換会」では、2005年度及び2006年度に全国各地で開催した意見交換会（登録組織の集い）に参加された皆様のご発言内容を取りまとめ、マネジメントシステムの成熟度をレベル毎に分類した「ISOマネジメントシステム活用の状況について：成熟度の判定」、最終報告書の一般的な所見を取りまとめた「一般的な所見からみたシステム改善の状況」について説明した後、

①「QMSの仕組み／EMSの仕組み」、②「文書化、記録、帳票類」、③「内部監査／外部監査」、④「トップの姿勢／スタッフの姿勢」等について参加された組織の

皆様が抱えている問題点や直面している状況に関して活発な意見交換が行われました。

なお、「認証組織の集い」では次の資料を配付致しました。

①品質及び環境マネジメントシステム認証機関に係る関連規格類の統合化

品質：JAB MS100-2007への移行計画

環境：JAB MS100-2007への移行計画

②QMS認証の手引き（テキスト版）

③EMS認証の手引き（案）（テキスト版）

④ISOマネジメントシステム活用の状況について：成熟度の判定

⑤一般的な所見からみたシステム改善の状況

⑥ISOだより（総集編）



『認証組織の集い』のひとコマ

次号以降の「ISOだより」において順次、意見交換会の内容については皆様に報告する予定でございますのでご期待下さい。

また、次回「認証の集い」は2008年3月の開催を予定しております。その節は、ご案内を差し上げますので奮ってご参加下さい。



『認証組織の集い』後の懇談

---

## ■ 今後開催される認証／登録判定会議の日程は下記の通り ■

---

1月21日（月）午後1時～5時30分  
2月18日（月）午後1時～5時30分  
3月17日（月）午後1時～5時30分

（財）日本建築センター（東京都千代田区）にて開催致します。



---

## ■ 再認証（品質）又は更新（環境）を迎える組織の皆様へ ■ **重要**

---

審査時期によっては、審査が混み合う事が予想されますので、余裕をもって再認証申請書（品質）又は更新申請書（環境）をご提出されますようお願いいたします。（再認証又は更新申請書の他に「申請者調査表」の提出が必要になります。）  
申請書及び調査表は（財）日本建築センターホームページ（<http://www.bcj.or.jp>）よりダウンロードして戴くか、「QMS認証の手引き（QMR42）」又は「環境マネジメントシステム審査登録の手引き（ER39）」に添付されている様式をご利用下さい。

なお、ご不明の点等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

システム審査部  
TEL 03-5816-7522  
FAX 03-5816-7544



---

## ■ 認証組織の集いの次回開催のご案内 ■

---

次回「認証の集い」は2008年3月の開催を予定しております。その節は、ご案内を差し上げますので奮ってご参加下さい。



---

## 編集後記

---

今年も残すところ僅かとなりましたが、皆様は忙しい毎日をお過ごしのことと思います。システム審査部ではISOだよりを年内に皆様にお届けでき職員一同、ホットしております。

これからが冬本番です。インフルエンザが流行の兆しをみせています。体に気を付けて新しい年を迎えられますことをお祈りいたします。

システム審査部は審査員、事務局ともに皆様のお役に立てるよう引き続き努力していく所存です。



**品質マネジメントシステム新規認証組織紹介（2007年10月～12月）**

認証番号 (BCJ-QS)	被認証組織名・事業所名	所在地	認証された品質マネジメントシステム
0862	田中造園土木株式会社	宮崎県日南市大字風田3558-11	造園及び維持管理並びに土木構造物の施工 『適用除外項目：7.3設計・開発』
0863	応用計測サービス株式会社 レンタル事業部、総務部	埼玉県川口市本蓮1-11-21	地質調査関連機器のレンタル業務 『適用除外項目：7.3設計・開発、7.5.2製造及びサービス提供に関するプロセスの妥当性確認、7.5.4顧客の所有物』
0864	株式会社 日本グリーン企画	本社：埼玉県深谷市人見479-4 東京支店：東京都新宿区西新宿3-6-5	造園工事、土木工事及び植栽維持管理業務

**環境マネジメントシステム新規登録組織紹介（2007年10月～年12月）**

登録番号 (BCJ-EMS)	登録組織名・事業所名	所在地	登録された環境マネジメントシステム
0138	セキスイハイム近畿株式会社	大阪府大阪市	工業化住宅の販売、設計、工事監理、施工及びアフターサービス
0139	株式会社 文元建設	鹿児島県大島郡	土木構造物の施工
0140	株式会社 米山テック 本社 総務部、土木部	鹿児島県大島郡	土木構造物の施工
0141	株式会社 町田建設	鹿児島県大島郡	一般 及び港湾土木構造物の施工並びに建築物の施工
0142	株式会社 テクノアース	千葉県千葉市	さく井の設計及び施工、土木構造物の施工、管工事並びに地質に係るコンサルタント業務